

【監修】陳 科榮
東京都済生会中央病院皮膚科部長
慶應義塾大学医学部皮膚科教室 兼任講師



夏の皮膚炎予防、 まずは汗のお手入れから。

汗をかきやすい夏は、肌トラブルの多い季節。

その代表が、小さな子どもにできやすい「あせも(汗疹)」です。

あせもは、汗をかいたままにしておくことで皮膚の成分やほこりが汗の出口をふさいでしまい、汗を排出する導管部「汗管」がつまって炎症を起こしたものです。子どもの小さな体にも大人とほぼ同じ数の汗腺がある上、子どものかく汗の量は大人以上と言われています。

汗の中には、わずかながら塩分やたんぱく質、乳酸、尿酸、そしてニオイのものとなる化合物も含まれており、これらの成分が肌への刺激となって、痒みをひき起こすことも。大人でも、アトピー性皮膚炎の症状の悪化や、洋服やアクセサリーによるかぶれなど、汗がひき起こす肌のトラブルは少なくありません。

汗をかいたらそのままにせず、早めにふき取って肌を乾かすことが一番の予防策。痒いからといって、かいてしまうとかき傷から細菌が入り、一層悪化してしまいます。痒みが強い場合や腫れがある場合は、早めに医師の手当てを受けましょう。

家族の健康を守る、大切な処方薬。

ジェネリック医薬品にも、皮膚にやさしいお薬があります。

医師、薬剤師にご相談ください。

高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合ったジェネリック医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

TAKATA
安心品質 安定供給 安全情報

「タカタ」のジェネリック医薬品には、
3つのAがあります。

高田製薬

www.takata-seiyaku.co.jp

〒331-8588 埼玉県さいたま市西区宮前町203-1
TEL:048-622-2626【代表】